



「子どもの本研究コーナー」オープニングセレモニー 開催

子どもの本や子どもの読書についての図書を集めました。
「子どもの本のひろば」と併せて、ご利用ください。

9月12日(日)に「子どもの本研究コーナー」を新しく開設しました。オープンを記念して、当日午後1時より、「子どもの本のひろば」前で、オープニングセレモニーを開催し、子ども文庫の方をはじめ30名余の参加がありました。

村井館長の「このコーナーを子どもの読書活動に携わる県民の方々が、子どもの本や子どもの読書について学んだり研究したりする場として、大いにご利用いただきたい」との挨拶の後、児童文学者の勝尾金弥先生の記念講話がありました。

勝尾先生には、このコーナーの開設にあた

り、ご意見をいただくとともに、長年の創作活動、児童文学研究のために収集された貴重な資料を数多くご寄贈いただきました。

記念講話では、勝尾先生が編集委員の1人として尽力された『日本児童文学大事典』全3巻(国際児童文学館・編 大日本図書刊)について、この事典の基本理念や10年におよぶ編集作業の数々のエピソードなどに、参加者は熱心に耳を傾けていました。

この後、「子どもの本研究コーナー」に移り、勝尾先生から、寄贈資料についての詳しい説明をお聞きし、「児童書庫」を見学してセレモニーは終了しました。

子どもの本研究コーナーについて

県立図書館では9月12日に、ブックスタートルーム内に「子どもの本研究コーナー」を開設しました。これは従来「子どもの本のひろば」にあった児童図書研究書のコーナーを移して拡大したもので、研究者の方々や、学校、幼稚園、保育園などで子どもの読書活動の推進に携わる方々、また保護者の方々の活動に役立てていただけるようにしたものです。

このコーナーには、子どもの本の研究のための参考図書や辞典類のほか、子どもの本のブックリスト、読み聞かせやわらべうた、昔話、科学よみものなどに関する図書があります。そのほか、絵本、児童文学、子どもの読書をテーマとする雑誌や、日本や外国の古い絵本などの復刻本があり、すべてあわせると2千冊以上となります。

また、このコーナーでは、児童図書館や学校図書館、文庫活動など、子どもと子どもの本を結ぶ活動について、利用者の皆様に最新の情報をお伝えできるように資料や情報を幅広く収集していきます。

グループでも勉強会などにもご利用いただけます。



どなたでもどうぞお気軽にお越しください。

子どもの本研究コーナーの開設にあたり、勝尾金弥氏より、約360冊の図書の寄贈を受けました。

石川県を代表する児童文学者である勝尾氏は、『天保の人びと』など郷土の歴史を題材とした児童文学の創作と児童文学の研究を長年続けら



れています。寄贈図書の中の、『少年読本』はわが国最初の伝記叢書であり、その世界編ともいえる『世界歴史譚』など、伝記文学の歩みを研究する上でも大変貴重な資料です。

また、日本児童文学史上、初の児童文学ともされている『少年之玉』(三輪弘忠/作 1890年刊)や大ベ



ストセラーとなった『こがね丸』(少年文学第1編 巖谷小波/作 博文館 1891年刊)

『こがね丸』『壺克刺底』『イソップ絵話』など、全国でも珍しく貴重な資料が沢山あります。県立図書館へご来館の際は、ぜひ、子どもの本研究コーナーへ足をお運びください。

児童書庫の公開(試行)と子どもの本のボランティアについて

県立図書館には、児童書が約9万6千冊ありますが、今までは、そのうちの約1万冊しか直接手にとって見ることはできませんでした。書庫にある約8万6千冊については、資料保存の観点から非公開としてきました。

しかし、10月1日より、県民の皆さまに直接手にとって選んでいただけるよう、児童書庫を公開することになりました。公開時間は、毎日午後1時から4時までです。(日曜日・休館日を除く)

また、公開に伴い、案内や整理などを手伝っていたボランティアを募集したところ、子どもの読書推進や児童書、図書館活動に理解と関心をお持ちの方々にご応募いただきました。ボランティアは、今後も随時募集していきます。ご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。そして、ぜひ、絶版になった本や貴重な本が豊富な「児童図書の宝庫」を自由に探検してみてください。ご利用をお待ちしております。

資料紹介⑩

白山行程記



『白山行程記』

石川・福井・岐阜・富山の4県にまたがり、それぞれ手取川・九頭竜川・長良川・庄川の水源となった白山は、霊山として、古くから信仰の対象とされてきました。当館にも、白山の歴史や登拝に係る資料が少なからずあります。今回はその中から、『白山行程記』(しらやまこうていき)をご紹介します。

『白山行程記』は、天方彝之助友諒(あまかたつねのすけともあき)編、一部彩色、弘化4年(1847)5月に刊行されています。福井藩士であった友諒が、天保4年(1833)刊行の、同じく福井藩士であった高田保浄(たかだやすきよ)の登山記録『続白山修行』を参考にして、自身が白山に登頂し、また一の瀬温泉に湯治し、平泉寺に参拝した記録を含めて、抜粋・書写したものです。

また『白山行程記』には、彩色をほどこした挿絵が、随所に見られます。

「白山三山全体道程名所之図」や「天池ヨリ白山全体を見ル図」、「大杉峠望之図」などの絵地図が多いのですが、中には、村の家並みを描いた「牛首村家立之図」や、自生する植物や野鳥を描いた図なども収められています。

講座 はじめての古文書

—古文書解読入門— 終了

今年度の講座「はじめての古文書-古文書解読入門-」も、10月5日(火)をもって前10回の講座が終了しました。

5月18日(火)から約半年にわたって開講されたこの講座は、22歳から85歳までの84名の方が受講され、昼間コース42名、夜間コース19名の方が修了されました。

最終講義は宇佐美孝氏が「藩主文書に見る書札礼^{しよきつれい}」と題し、加賀藩5代藩主綱紀の頃に定まるとされる文書の形式である書札礼を、6代藩主となる吉徳の元服・任官や、13代藩主斉泰に輿入れする溶姫に関する書状等をテキストに用いて、歴史的背景を交えて解説して下さいました。

講義終了後、8回以上出席の受講者に、県立図書館の村井加代子館長より修了証書をお渡ししました。



修了証書を受け取る受講生

受講生からは、各回の講義内容も「絵図を見る」、「年貢史料を読む」、「龍馬を読む」、「本願寺史料を読む」等多彩なテーマで、新たな興味を持って受講できた、とのご感想をいただきました。

平成22年度第2回講座
『加能史料』はいま開催
11月21日(日)

今年度の第2回目の講座「『加能史料』はいま」を開催します。駒澤大学文学部教授の廣瀬良弘氏をお迎えし、「中世曹洞禅宗の展開と永平寺・総持寺の両本山」と題して、曹洞禅宗の全国展開と農民・民衆への受容についてお話していただきます。

詳しくは4ページの行事予定をご覧ください。

【行事案内】

当館HPでもご覧いただけます。

(<http://www.library.pref.ishikawa.lg.jp/>)

おしゃべりサロン

気軽にご参加ください!

土曜日 午後13時30分～

- ・11月6日 中村 徹也 氏
「四季に見る日本人のこころ
ー天高く馬肥えて…そして師走ー」
- ・11月13日 香林 せいこ 氏
(銀座コーチングスクール認定コーチ)
「笑顔のコーチング」
- ・11月20日 藤井 まり子 氏
(子どものけんりCAPいしかわ)
「子どもの安心といろいろな気持ちを育むために」
- ・12月11日 西本 末男 氏
「モーツァルトはなぜ心に響くか
ーピアノソナタとピアノ協奏曲についてー」
- ・12月18日 安田 文子 氏 (華道池坊講師)
「クリスマスを楽しもう
ーくつ下を使った生け花ー」
- ・1月15日 図書館八人会
「”うさぎのとし”おはなし始めの会」
- ・1月29日 米尾 貞夫 氏
(金沢観光ボランティアガイド)
「金沢観光おもしろばなし」
問合せ先: 総務グループ (Tel 076-223-9565)

平成22年度第2回講座
『加能史料』はいま

- ★11月21日(日)
講師: 廣瀬^{ひろせ} 良弘^{りょうこう} 氏 (駒澤大学文学部教授)
「中世曹洞禅宗の展開と永平寺・総持寺の両本山」
時間: 午後2時～4時
会場: 石川県立図書館 第1研修室(4階)
対象: 一般
参加費: 無料
定員: 200名(申込順)
申込・問合せ先: 史料編さん室 (Tel 076-223-9579)

石川県図書館大会

- ★日時: 11月5日(金)
記念講演「木曾義仲と加賀路の合戦」

講師: 東四柳 史明 氏

(金沢学院大学美術文化部 教授)

(略歴) 石川県穴水町生まれ。國學院大學大学院修了。石川県教育委員会文化財保護課、県立中島高校教諭、県立図書館史料編さん室を経て、現職。平成21年度より県立図書館史料編さん室長を併任。専門分野は北陸中世史、神社史で、著書に『半島国の中世史』(北国新聞社)、『石川県の歴史』(共著、山川出版社)などがある。

第1部会

「子どもの読書推進10年の歩み」
パネラー: 井尻 みや子 氏(富田林市立金剛図書館)
: 山本 朝子 氏(七尾市立中島図書館)
コーディネーター: 久川 裕恵 氏(七尾市立中央図書館)

第2部会

「本との幸福なであい～読書案内は夢先案内人～」
パネラー: 東 まゆ美 氏(愛知県立図書館)
: 伊藤 富士美 氏(小松商業高等学校)
コーディネーター: 尾木沢 響子 氏
(小松市立空とこども絵本館)

会場: 津幡町文化会館「シグナス」

対象: 図書館関係者、一般

問合せ・申込先: 企画協力グループ

(Tel 076-223-9581)

ふゆのおはなし会

- ★12月4日(土) 午後2時～3時
語り手: 県立図書館職員
会場: 石川県立図書館 2階 県民交流室
対象: 幼児(4歳程度)～一般
問合せ先: 子どもの本のひろば
(Tel 076-223-9587)

高田宏氏講演会「日本語の豊かさ」

- ★日時 平成22年2月19日(土)
午後2時～3時30分

会場: 石川県社会福祉会館

対象: 一般(申込不要)

問合せ先: 企画協力グループ(Tel 076-223-9581)

(略歴) 1932年京都市生まれ、石川県加賀市大聖寺育ち。京都大学文学部仏文科卒業。光文社で「少女」「マイホーム」、アジア経済研究所で「アジア経済」、エッセイ石油で「エナジー」「エナジー対話」その他の雑誌を編集。78年『大言海』の著者大槻文彦の生涯を描いた『言葉の海へ』で大佛次郎賞と亀井勝一郎賞を受賞。84年より文筆専業になる。『雪 古丸谷』『われ山に帰る』『吾輩は猫でもある』覚書き』『木に会う』『雪日本 心日本』『編集者放浪記』『海上の王国』『雪恋い』『猪谷六合雄一人間の原型・合理主義自然人』『山へ帰った猫』『冬の花びらー雪博士中谷宇吉郎の一生』『心うるおう加賀の休日ーなつかしい自然を歩く』など著書多数。